

NASCARで勝利するために生まれた特別な一台

Designed 4 Victory

'80年代に生産されたアメリカ車のスポーティモデルにおいて、名車あるいはコレクタブルカーとして認識されるものは極端に少ない。しかし、中にはハードコアなCARガイたちに注目され、特別な価値を見出されるクルマがある。GMではビュイック・グランナショナルと並んでシボレー・モンテカルロSSがその筆頭といえるだろう。共にフルフレームのGボディをプラットフォームとし、ボディ剛性の高さを誇るモデルで、その証として当時のNASCARウィンストンカップで大活躍した。

もともとモンテカルロは'70年にデビューを果たした時点から、NASCARに出場することを目的としていたモデルであり、そのスピリットは省エネや環境問題を背景に格え大幅なダウンサイジングを強

いられた後も基本的に変わらなかった。特に'86年型と'87年型ではハイスピード化したレースに対応して、より空力特性に優れたエアロクーペをホモロゲ取得の為に市販したのが強く印象に残る。ちなみにこの2シーズンは、あのデイル・アンハートがそのエアロクーペを駆ってウィンストンカップ・チャンピオンに輝いており、そういう意味でも本国ではプレミアム・バリューが認められている1台なのだ。撮影車はそれをベースに更なるパフォーマンスアップを果たしたものの、オリジナルの306HOはフルメカニカルへと仕様変更を受け、吸排気系や点火系にアフターマーケットパーツが採用された。また、NASCAR魂をアピールするため足元に本物のバセットリムが奢られたのも特徴のひとつだろう。

